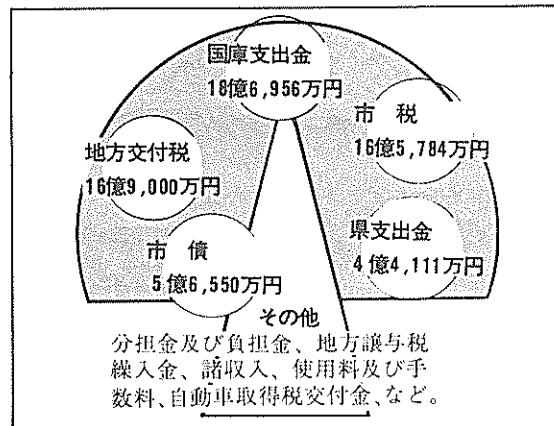


一般会計・歳入



総額67億4,300万円

前年度比はわずか

厳しい当

五十四年度の一般会計当初予算は、三月定例市議会にて可決されました。

一般会計当初予算の総額は、六十七億四千三百万円、前年度をやや上回る一・五六割の伸びとなっています。

この厳しい財政状況は、個人市民税の税率を標準税率に引き下げたことや農機具製造業の不況による税収の減、財産収入の減、地方交付税の交付額が前年度比九割の増であり、前年度二三割増の二分の一以下の伸びとなったなどの理由により、歳入の増は多くを望めない状況です。

また、歳出では人件費、公債費の義務的経費の伸びが著しく、財政構造の改善に努力をしたものの、残念ながら悪化の傾向となっています。

五十三年度の当初予算と比べますと、内容は貧弱であるという感をぬぐえませんが、市立図書館と市民負担の軽減（個人市民税の標準税率までの引下げ）をひとつの願いとして、今後の努力により財源の確定を待って、五十四年度予算の充実をしたい方針としています。

社会福祉

福祉重点、総予算の48.0%



お年寄りや子供たち、恵まれない人たちにあたたかい手を——民生費は総額32億3,396万円、前年度より4.9割、1億5,138万円の増額で、本年度総予算の48.0%を占めています。

■社会福祉協議会補助金 200万円、民生委員協議会補助金 346万円、同和関係団体補助金 542万円。

■国民年金印紙購入基金への繰入金 8,000万円。

■精神薄弱者援護に要する経費は 2,470万円。

■お年寄りのために——ホームヘルパー 766万円、老人クラブ育成補助金 502万円、老人医療費 3億360万円などで、4億6,634万円。

■南部福祉館、中央福祉館、共同作業所管理運営費などの社会福祉施設費に 2,159万円。

■同和対策事業では、国庫補助事業で 3億8,315万円（公営住宅25戸、小集落整備事業調査費、野中幹線第1期改良工事など）、県単事業で 1億8,427万円（下水排水路改修14件、人工崖防災対策事業20件、公営住宅改良20戸、土地改良事業7件など）、市単事業で 2,091

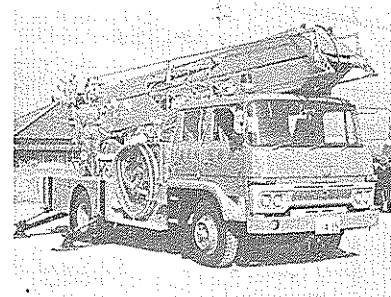
万円（地区道、下水排水路など）。総額で 5億8,833万円、昨年より 3億4,933万円の増。

■児童福祉では、児童手当 5,225万円、乳児医療費 1,440万円、重度身障者医療費 1,440万円、交通遺児手当 120万円、母子手当 432万円。働く母親に代って幼児を保育するための経費は——、浜改田・吾岡保育所などの私立保育所入所委託に 5,699万円。市立保育所の管理運営費に 9,012万円、遊園地の維持管理に 104万円、後免保育所の改築設計委託に 296万円。

■いろいろの事情により生活の維持ができない人や医療費の支払いができない人のための生活保護費は、11億3,740万円。生活扶助 3億2,707万円、住宅扶助 1,598万円、医療扶助 7億2,777万円。

初予算

1.56割の増



消 防

市民の財産と生命を守るための消防費は 1億6,163万円。

■消防署に要する経費に 1億2,194万円、消防団などの非常備消防費に 1,855万円。

■防火水そう 5基に 885万円、消火栓10カ所に 120万円、サイレン鉄塔1基に 45万円、無線遠隔サイレン装置3基に 195万円など。

議 会

地域住民を代表し、その意志を行政に反映させるための議会費は 1億994万円。

■議員30名の報酬は 5,533万円、旅費 347万円。議長交際費 120万円。議長車購入 260万円。他に職員の人件費や需要費など。

一般会計・歳出

(上) 当初予算額 (中) 前年度額
(下) 支出割合%

議会費 1億994万円 (9,142万円) 1.6%	総務費 6億3,797万円 (5億664万円) 9.5%	民生費 32億3,396万円 (30億8,257万円) 48.0%
衛生費 2億4,284万円 (3億2,015万円) 3.6%	労働費 1億8,423万円 (1億7,916万円) 2.7%	農林水産業費 3億1,929万円 (2億4,405万円) 4.7%
商工費 3,432万円 (2,811万円) 0.5%	土木費 4億5,606万円 (3億2,032万円) 6.8%	消防費 1億6,163万円 (1億7,658万円) 2.4%
教育費 6億8,819万円 (9億1,260万円) 10.2%	災害復旧費 1,339万円 (4,688万円) 0.2%	公債費 6億5,113万円 (5億7,210万円) 9.7%
予備費 1,000万円 (1,000万円) 0.1%	市民1人当りに使われるお金 150,762円 市民1人当りの税金 37,067円 1世帯当りに使われるお金 479,758円 1世帯当りの税金 117,954円	

地場産業不振対策費を計上

商 工



商工費は3,432万円。地元商店や商業発展のために、観光のために前年度より621万円の増。
■農機具製造業の不振対策としては、労働者対策（労働金庫預託に500万円、労働者信用基金協会出捐金100万円）と企業対策（信用保証協会出捐金220万円、商工中

金預託1,000万円、中小企業不況対策特別資金利子補給補助金240万円）で、貸付けの促進と不振企業の救済に努めるもの。

■商工会補助金150万円。他に、土曜市、観光物産展補助金など。

農 業

農道水路の整備に

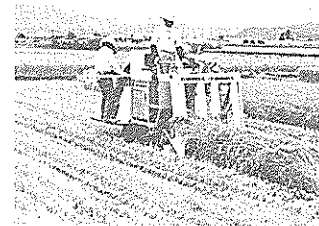
田園都市として発展するための基幹産業である農業——農業費は3億365万円で、前年度より7,689万円の増。

■水田再編対策関係費533万円、協業みかん園対策としては、借り入れた資金の利子補給のための補助金522万円。有線放送組合の赤字解散により、その整理のための県補助金1,250万円。（事務所は水道局が2,500万円で引き取る）。
■団体営土地改良事業として、

岩瀬川排水路2,424万円、瀬川排水路2,525万円、上倉基幹農道改良舗装1,010万円。県単土地改良事業として、農道改良（8件）1,710万円。水路改修（6件）2,150万円など。市単土地改良事業では、三品北線800万円など。債務負担行為土地改良区1,014万円、広域農道負担金2,120万円などにより農道や排水路の整備。

■林業費は903万円。林道つるべ線舗装工事や林道改良事業補助金など。

■水産業費は633万円。漁業近代化資金利子補給補助金など。



土 木

日常生活に密接なつながりのある市道や農道、都市計画、橋りょうなどの経費に4億5,606万円、前年度より1億3,573万円の増。

■道路新設や改良に要する経費は2億5,190万円。国庫補助事業として、小笠一道路石線1,530万円、比江一門立線1,500万円、前浜一岩線（自転車歩行者道）2,160万円。市単事業として、市道舗装改良費に2億円。（このうち1億円を財政再建のため財団法人市開発公社が施行した道路事業に支払うもの。）

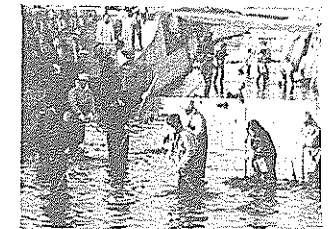
■橋りょう新設や改良に要する経費は6,020万円。国庫補助事業として、岡豊・山崎川橋の架け換え4,970万円。市単事業として、橋りょう架け換え工事、稲吉線600万円、清川線150万円、立石線300万円。

■河川費は2,312万円。国庫補助事業で、小笠川改良工事600万円、河川美化対策事業800万円など。
■住居表示や公園補修などの都市計画費に3,281万円、下水道に1,295万円。
■住宅費は2,156万円。公営住宅管理に1,331万円、危険住宅移転事業補助金（2件）768万円など。

環境衛生

ゴミ・し尿処理に

市民の健康と美しい自然や環境を守り、住みよい町づくりするための保健衛生、予防、し尿処理などの衛生費に総額2億4,284万円で、7,730万円の減。
■保健衛生費は7,077万円で、昨年より9,456万円の減。在宅番医制事業に伴う負担金249万円など。
■予防費は1,921万円。ワクチン代649万円、レントゲン検診委託



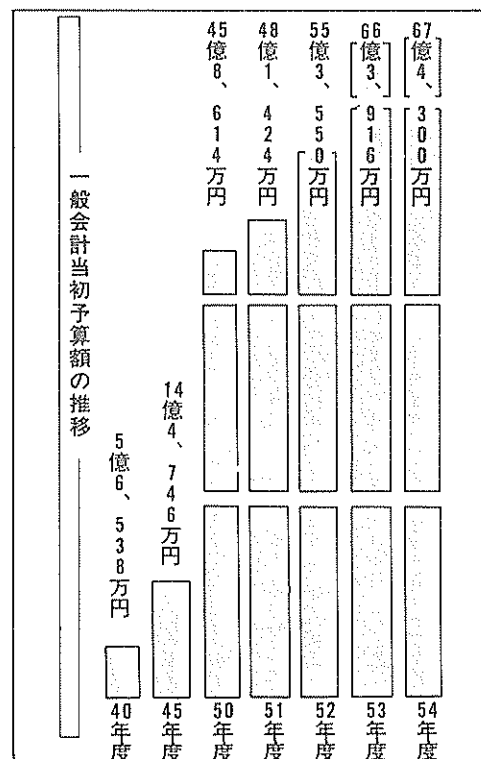
料546万円など。

■環境衛生費は1,243万円。地域と市とのパイプ役として、健康的な町の環境づくりをする306名の衛生委員の報酬200万円、水質検査などの公害対策に70万円、公衆浴場関係で635万円など。

■ゴミ処理に要する経費は、1億4,802万円。ゴミ袋代887万円、香南清掃組合負担金7,018万円など。

■し尿処理に要する経費は、2,405万円。黒滝し尿処理場管理浄化委託料1,720万円、し尿中継増設工事350万円、し尿処理業者貸付金200万円など。

こんなに使われます



予算のゆくえ

総 務

財政、空港、同和など諸問題の解決に努力する市長、助役などの執行部をはじめ、関係6課と選挙管理や監査などに要する経費は6億3,797万円。

■市長ら三役と職員156名の給与関係には2億3,168万円。市役所と市民との連絡をお願いしている部落連絡員318名に337万円。市長の交際費に350万円。庁舎の電気、ガス、水道費などの需要費に1,826万円。職員研修や福利厚生などの経費に1,647万円。

■市民と市政をむすぶ

広報なんこくなどの広報広聴活動に665万円。指定金融機関委託料など会計管理費に543万円。公用車を集中管理する経費に320万円など、松くい虫防除伐採や庁舎エレベーター、浄化槽、借地料などの財産管理費に4,532万円。

■カーブミラーなど交通安全施設の整備や通学用ヘルメット購入補助金などに1,318万円。防犯灯の設置などに250万円。

■“盛大にならない程度”で行う市制施行20周年記念行事に474万円。主なものとして、式典、祝賀会、産業祭、記念植樹、市勢要覧、市民憲章碑建立。

■市税の課税や徴収のための徴税費は、1億1,942万円。納期前納付報償金450万円、税関係の計算を電算センターに委託348万円。

こんなに使われます

市立図書館関係に2,300万円



教 育

納税組合補助金935万円。

■戸籍や住民基本台帳に要する経費に5,339万円。県議、市議、知事、市長、などの選挙費に4,438万円。

■世界農林業センサス、就業構造基本調査、商業統計、工業統計などの統計調査費に707万円。監査委員費に648万円。

児童からお年寄りまでの教育、スポーツ、文化振興のための教育費は6億8,819万円で、前年度より2億2,441万円の減。

■小学校費は2億7,002万円で、前年度より2億1,866万円の減。久礼小学校スクールバスに500万円、日章小学校屋内運動場（寄付金）に2,000万円など。

■中学校費は1億7,854万円。2

予算のゆくえ

年継続事業で54年完成予定の香南中学校に、1億2,514万円。

■幼稚園費は2,640万円。私立の幼稚園就園奨励費は407万円など。
■社会教育費は1億2,630万円。婦人・青年・高齢者学級、市展などに5,078万円。識字学級、集会所の管理運営、青年学級、子供会、奨学資金などの同和教育に3,488万円。公民館活動に1,048万円。おながどりなどの文化財保護や市史編さん費に512万円。視聴覚教育に164万円。

市制20周年記念行事としての市立図書館は2,338万円。巡回活動車購入300万円、図書費400万円、図書館補修のための経費に180万円など。

■市民の健康と体力づくりのための保健体育費は2,098万円。スポーツ振興や体育館管理運営など。